



**おじいちゃん・あばあちゃんありがとう！
布津小学校「伝承遊び交流会」**

2月20日(火)、布津小学校体育館で、町内の老人会会員約20名と布津小学校3年生60名が「伝承遊び交流会」に参加し、水鉄砲やお手玉といった昔ながらの遊び道具を作ったり、白玉団子を作ったりして交流しました。

この交流会は、老人会の人たちと一緒に遊び道具を作ったり、遊んだりする活動を通じ、交流を深め、高齢者の人たちを大切にしようとする心を育てようと、毎年行われています。交流会では、道具を使う子ども達の危なっかしい手つきに、老人会の皆さんがやさしく手をさしのべ、自分たちのお孫さんを見るような目で、しっかりと指導されていました。自分たちの手でつくった遊び道具で、楽しそうに遊んでいた子ども達の笑顔がとても印象的でした。(白玉団子もおいしそうでした…)



**今日からあなたもヘルスアップ！
「第1回南島原市健康福祉まつり」・
AED寄贈（南高医師会）**

2月25日(日)、ありえコレジヨホールと有家保健センターで「第1回南島原市健康福祉まつり」が開催されました。開会式では、献血表彰が行われ、続いて「自分たちの健康は自分の手で」というテーマでシンポジウム（公開討論）が行われました。健康でいきいきとした毎を送りたいと願い、シンポジウムに参加した人たちは、真剣な表情で聞き入っていました。また来場した人たちは、専門家への相談や、体験、参加コーナーで、健康や福祉に対する理解が一層深まった様子でした。

また、3月6日(火)に開催された(株)南高医師会の臨時総会において、AED（自動体外式除細動器）が南高医師会（会長：泉川欣一氏）から南島原市、雲仙市ほか4つの高校（口加・翔南・小浜・国見）に寄贈されました。

通常、心臓が停止した場合には、一刻も早く人工呼吸、心臓マッサージを行うとともに、心臓に電気ショックを与えることが必要とされています。今回寄贈されたAEDは、操作を自動化して一般の人でも使えるように設計されており、その効果はとても高いものです。

今回、南高医師会からは「救急医療に対する啓蒙の一環」として寄贈いただきました。今後は、ありえコレジヨホールに設置し、万一の備えとして活用させていただきます。



◀ AED操作訓練の様子

**心身の練磨のために
第1回 南島原市少年剣道選手権大会**

2月11日(日)、布津ふるさと道場で、南島原市防犯協会が主催する「第1回南島原市少年剣道選手権大会」が開催され、南島原警察署管内の小中学生が、剣の技を競いました。大会は、小学1年生のかわいらしい剣士から中学生まで参加して行われました。

小学校低学年の試合では、防具こそ大きめですが、ハリのある大きな声が会場いっぱいに響いていました。

各学年の優勝者は下記のとおりです。

- ▼小学生

1年(男女混合) 浦田 和樹(北)	2年(男女混合) 松尾倫太郎(有)
3年(男女混合) 渡部 隆一(布)	4年(男子) 永友 忍(北)
5年(男子) 田中 琢己(有)	6年(男子) 安達 賢(有)
4~6年(女子) 田中 優(布)	
- ▼中学生

1年(男子) 寺田 知空(布)	2年(男子) 池田 宏一(布)
1・2年(女子) 松嶋 祐希(有)	



応援団も力が入ります 第1回 南島原市綱引き大会

合併後、南島原市としてのビックイベントのひとつ「第1回南島原市綱引き大会」が2月11日(日)、深江体育館で行われました。綱引きをとおして、市民の親睦や融和を図り、地域連帯感を高めるために開催された今大会は、小学生から一般まで、約600人が参加し、熱戦につぐ熱戦を繰り広げました。

ひと呼吸で一歩、ゆっくり、じわりと綱が動いていく様子は応援者にも力が入ります。参加選手は当然のこと、応援団も大声で声援を送り、歯を食いしばるほどの表情が、みんなの顔ににじみ出ていました。



- ▼小学校の部

優勝 大野木場パワフル6年(深)
準優勝 龍石小シャ・ロン(西)
3位 小林小6年(深)



- ▼一般男女混合の部

優勝 ファミリー6(北)
準優勝 陸の井川組(混成)
3位 慈恩寺体推協(西)



- ▼一般の部

優勝 見岳TC(西)
準優勝 青かてんげ玉子(北)
3位 深江幼稚園オヤジの会(深)



まさに千差万別！ 第9回 ありまひょうたん展

2月24日(土)・25日(日)、北有馬町ピロティー文化センター日野江で、瓢箪愛好家のみなさんが自分たちの作品を発表する「第9回ありまひょうたん展」が開催され、500点以上の作品が出展されました。

このひょうたん展は約10年前北有馬町内の派出所に赴任した井手さんから、地域の皆さんが作り方などを習ったことがきっかけとなり始まりました。

作品は重ね塗りしたものを磨き上げ、絶妙な色合いを出したものや、透かし彫りと言われる技法を用いた作品などがずらり。訪れた観客は、さまざまな色、形、大きさをもつ作品に見入っていました。

現在名誉会長である井手さんは「ひょうたん(の作品作り)は初心者でも始めやすいですが、とても奥が深いですよ」と話しながら、会員の作品を、子どもを見るような目でひとつひとつ確かめていました。

